

仙台医療センター建替等整備計画に係る
事後調査計画の変更について

令和2年6月

独立行政法人 国立病院機構
仙台医療センター

1. はじめに

本事業は、仙台市環境影響評価条例に基づき、平成 27 年 1 月に環境影響評価書を提出、令和元年 3 月に工事が完了し、令和元年 4 月より供用後の事後調査を行っているところであるが、評価書に示した内容から変更が生じたため、その内容を報告する。

2. 評価書からの変更内容

(1) 変更が生じる内容

事後調査計画に示す一部の項目の調査時期について、評価書から変更が生じる。

(2) 変更の事由

大気質等の事後調査時期は「定常状態となった時期実施すること」としているものの、新型コロナウイルスの影響により、病院の稼働状況、来院者への対応、往来する病院関連車両等が定常状態ではなく、緊急事態宣言が解除された後も引き続き定常ではないことが想定される。

また、風害調査は「解体工事完了後に調査を実施すること」としているものの、旧病院の解体工事は旧病院に使用していたアスベストの処理に関する関係機関との調整や埋設物等の影響に伴い、当初解体計画よりも解体工事が遅延している。さらに、上記新型コロナウイルスの影響により、さらに解体工事工程に遅れが生じることが想定される。

したがって、事後調査に影響を及ぼす調査項目については事後調査時期を調整する必要がある。ただし、変更内容は調査時期のみであり、調査項目、調査方法、調査地点についての変更はない。

(3) 事後調査項目と計画変更の概要

事後調査項目の概要は表-1 に示すとおりである。また、評価書作成時の事後調査計画は【別表】に示すとおりである。

上記(2)の事由により、事後調査に影響が生じると想定される「大気質」「騒音」「振動」「低周波音」「水質」「風害」「自然との触れ合いの場」「廃棄物等」「温室効果ガス等」は調査工程を調整する。ただし、変更後の調査時期は新型コロナウイルスの終息時期が見通せないため、調査工程は状況を勘案して設定する。

なお、「水象(地下水)」「水循環」「地形・地質」「地盤沈下」「植物」「動物(鳥類)」については計画通り実施予定である。

表-1 事後調査項目と計画変更の有無

調査項目	調査期間等	調査時期 変更の有無	変更の事由*	変更後の 調査時期	備考
大気質	病院の事業活動が定常となる時期	有	コロナ	未定	—
騒音	〃	有	コロナ	未定	—
振動	〃	有	コロナ	未定	—
低周波音	〃	有	コロナ	未定	—
水質	〃	有	コロナ	未定	—
水象(地下水)	工事完了後から病院稼働の定常時期	無	—	—	評価書時から継続実施中
水循環	工事完了後	無	—	—	竣工図書等から整理
地形・地質	工事前、工事中、供用後	無	—	—	水象結果、竣工図書等整理
地盤沈下	開院前、工事完了後、病院稼働の定常時期	無	—	—	—
電波障害	工事完了後	—	—	—	H31.4 に実施
日照障害	工事完了後	—	—	—	竣工図書に基づき作成
風害	旧病院の解体完了後	有	コロナ・解体	未定	—
植物	工事完了後の春季・夏季・秋季	無	—	—	—
動物(鳥類)	工事完了後の 4 季	無	—	—	—
景観	工事完了後の夏季・冬季	—	—	—	R1.8-9, R2.2 に実施
自然との触れ合いの場	病院の事業活動が定常となる時期の 4 季	有	コロナ	未定	—
廃棄物等	病院の事業活動が定常となる時期	有	コロナ	未定	—
温室効果ガス等	病院の事業活動が定常となる時期	有	コロナ	未定	—

※変更の事由は以下のとおり

コロナ：新型コロナウイルスの影響により病院の事業活動が定常とは言えないことによる計画変更

解体：解体工事の遅延に伴う計画変更

仙台医療センター建替整備計画 環境影響評価事後調査(供用後)事後調査計画

Table with columns for project items (事後調査項目), survey content (調査内容), survey methods (調査方法), survey locations (調査地域等), and survey periods (調査期間等). Rows include air quality, noise, vibration, water quality, and landscape surveys.

■:計画 ■:実績

※1 新型コロナウイルスの影響及び旧病院の解体工事の遅れにより、事後調査時期の調整が必要と想定される項目
※2 新型コロナウイルスの影響及び旧病院の解体工事の遅れにより、令和2年6月段階において事後調査に遅れが生じている項目